

つくば市議会提言書

令和3年11月30日 予算決算委員会

事業名	地域拠点活力共創マネジメント事業
事業概要	周辺市街地の活性化に向け、各市街地で発足が進む「周辺市街地活性化協議会」の組織力強化や、周辺市街地の活性化策を広く公募する「つくばR8地域活性化プランコンペティション 2020」を開催した。
提言内容	
<p>これまでの2年間の実績を検証し、今回選定された団体に限らず、もともと地元で活動している団体も含め、それぞれに合わせた継続的支援は今後も必要と考える。そのためにも、活動継続に向けた聞き取りに力を入れていくべきと考える。また、「まつりつくば」や「市民文化祭」「産業フェア」といった市のイベントへの参加の場をつくり、団体間の交流や市民への情報発信ができるような機会を提供することが必要と考える。</p> <p>あわせて、団体同士の連携を促し、市内の学校や子供会等とつなげて担い手づくりの援助も行っていく。</p> <p>補足：ジオパークの取組とつなげて、地域の特産品や名所の魅力発信も行うとよい。</p>	

予算決算委員会都市建設分科会

提言に対する対応

1 活動団体の活動継続に向けた聞き取りについて

令和3年9月に各市街地の周辺市街地活性化協議会と R8 コンペ採択者が一堂に会し、情報交換を行う場として「つくば R8 ネットワーク会議」を開催しました。その中で、各団体で活動継続に向けて課題となっていることについてアンケートを行い、活動資金の確保や担い手の確保といった各団体共通の課題を把握することが出来ました。

2 活動団体の市のイベントへの参加の場の確保について

各団体の活動を発表・PR する場として、市のイベント等に参加することは効果的であることから、今後、検討していきます。

3 担い手づくりの支援について

担い手不足は各団体共通の課題となっており、地域での活動を通じて次世代との連携により、担い手の確保を促していきます。また、市としても令和4年度に地域人材の発掘を目的とした事業を予定しています。

4 ジオパークの取組との連携について

ジオパークとの連携は、地域資源を活用した地域の活性化を行う観点から相乗効果が期待でき、今後も連携を図っていきます。

(以上、周辺市街地振興課)

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

- ・市でのイベントに活動団体が参加し、取組のPR等できる場をつくっていくよう検討、対応されることは評価する。
- ・担い手づくりについて、各団体共通の課題とのことだが、今後の取組が具体的に見えてこない。今度どのような取組をしていくのか、引き続き検討する必要がある。
- ・他の活動団体やジオパークとの連携もできるよう、それぞれの活動内容を情報交換できるような環境整備も引き続き取り組まれたい。

(都市建設分科会)

つくば市議会提言書

令和3年11月30日 予算決算委員会

事業名	ごみ分別アプリ事業
事業概要	市民の利便性を向上させるとともに、ごみの分別の徹底とリサイクルを推進してごみの減量化を図るため、ごみの出し方の検索や収集日の確認ができるアプリを構築した。
提言内容	
<p>1 現在、英語と日本語のみの対応なので、中国語等の外国語の種類を増やす。</p> <p>2 アプリをごみの減量、リサイクル促進の啓発コンテンツとしても利用できるようにする。</p> <p>3 生ごみコンポスト作りの簡単な手順を動画や写真等で配信したり、生ごみ処理機の紹介や、市で行う補助事業もお知らせする。</p> <p>4 缶やビン、ペットボトルなどに異物が混入していると、後の分別に手間と時間をかけてしまうことをお知らせする。</p> <p>5 ごみの排出量と経費を月ごとにお知らせすることで、自身の出すごみ排出量に関心を持ってもらう。</p> <p>補足：プラごみ分別にスーパーの分別回収を利用する方法もお知らせすることもごみ減量化につながるといった情報も発信する。</p>	

予算決算委員会都市建設分科会

提言に対する対応
<p>1 「現在、英語と日本語のみの対応なので、中国語等の外国語の種類を増やす。」ことについて、ごみの出し方カレンダーに掲載している6か国語に、ベトナム語を加えた7か国語に対応できるよう準備中である。</p> <p>対応言語は、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語の7言語としている。外国人住民数（令和3年10月1日現在）統計によるとベトナム国籍の住民は11.7%と2番目に多いため、新たに追加することと</p>

した。分別アプリで7言語に対応することに合わせて、令和4年度版ごみの出し方カレンダーでも7言語への対応を行うこととした。（環境衛生課）

2 「アプリをごみの減量、リサイクル促進の啓発コンテンツとしても利用できるようにする。」について、生ごみ処理容器等の補助制度の案内やごみ分別の注意点、ごみの排出量推移の公開など啓発コンテンツをアプリで発信するだけでなく、より詳しい情報を掲載しているホームページへ誘導するなど、アプリを起点とした啓発の充実を図ることとした。（環境衛生課）

3 「生ごみコンポスト作りの簡単な手順を動画や写真等で配信したり、生ごみ処理容器の紹介や、市で行う補助事業もお知らせする。」について、分別アプリからホームページや動画サイトへのリンクを貼ることで対応することとした。（環境衛生課）

4 「缶やビン、ペットボトルなどに異物が混入していると、後の分別に手間と時間をかけてしまうことをお知らせする。」について、分別アプリのお知らせ機能やホームページで継続して注意喚起を行うこととした。（環境衛生課）

5 「ごみの排出量と経費を月ごとにお知らせすることで、自身の出すごみ排出量に関心を持ってもらう。」について、サステナスクエア管理課と連携して、毎月更新するごとにアプリの通知機能でお知らせするとともに、詳細についてはホームページへ誘導することとした。

また、1人1か月当たりの生活系の燃やせるごみ排出量を想像しやすい形（例えば、ペットボトル何本分等）で示し、前年度同月と比較することとした。（環境衛生課）

補足 「プラごみ分別にスーパーの分別回収を利用する方法もお知らせすること
もごみ減量化につながるといった情報も発信する」ことについて、分別アプリで案内するほか、ホームページや3Rニュース、区会回覧などの媒体を通して、周知啓発を行っていくこととした。（環境衛生課）

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

- ・ごみ分別カレンダーを6か国語から7か国語に、ごみ分別アプリの対応言語を2か国語から7か国語に増加させたことは評価する。
- ・リサイクルの有償買取りについては、市税をどのくらい使っているのか、市民に知らせ、再利用の啓発や有償ごみ排出削減に向けた検討も必要と考える。
- ・3Rニュースを使って、ゴミ分別やリサイクルに関する情報、ゴミの排出量をお知らせし、ゴミ減量に向けた啓発活動を行っていくとのことなので、定期的な情報の発信に努めてもらいたい。そのためにも、ごみ分別アプリのダウンロード数を増加させる必要があるので、市としてのさらなる情報発信に取り組まれたい。

(都市建設分科会)